

# 認知症医療の実態調査

## 中間まとめ（概要）

令和 7 年 11 月

東京都

## 目次

中間まとめ（概要） ※調査結果から一部を抜粋 .....	2
I 病院調査.....	2
II 認知症疾患医療センター（病院以外）調査.....	8
III 施設・居住系サービス・居宅介護支援事業所調査.....	8
IV 区市町村調査.....	10
V 当事者・家族調査.....	10

# 中間まとめ（概要） ※調査結果から一部を抜粋

## I 病院調査

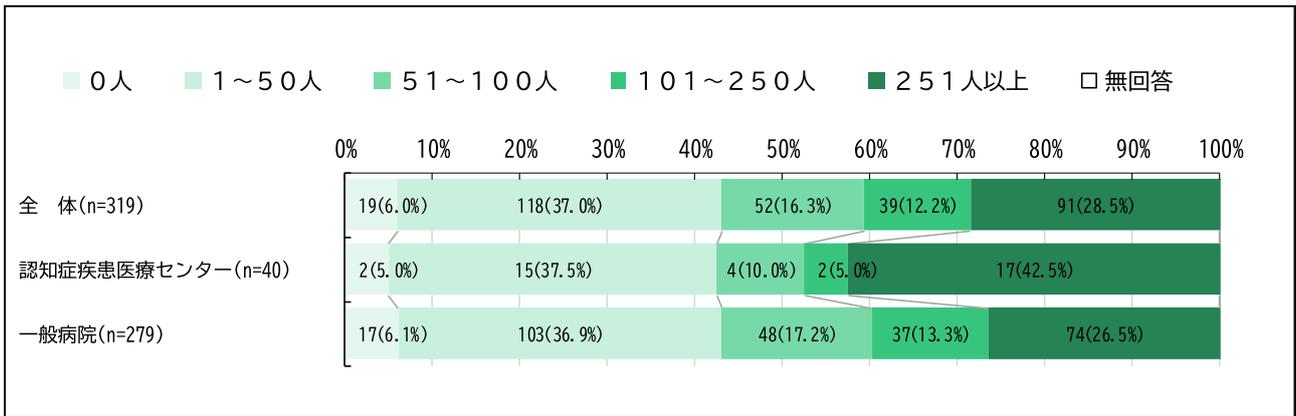
1-1 認知症を有している患者（疑いも含む。以下同様。）の入院受入れについて伺います。

### (1) 認知症を有している患者の人数について

問1 認知症を有している患者の人数をご回答ください。

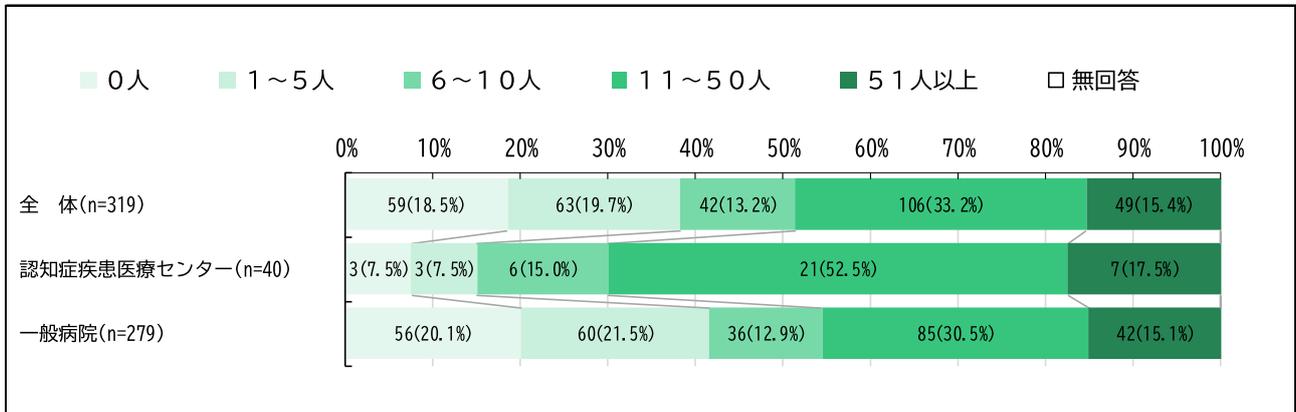
#### ア 病院全体の新規入院患者数

全体では、「1～50人」(37.0%)が最も高く、続いて、「251人以上」(28.5%)の順に高くなっている。



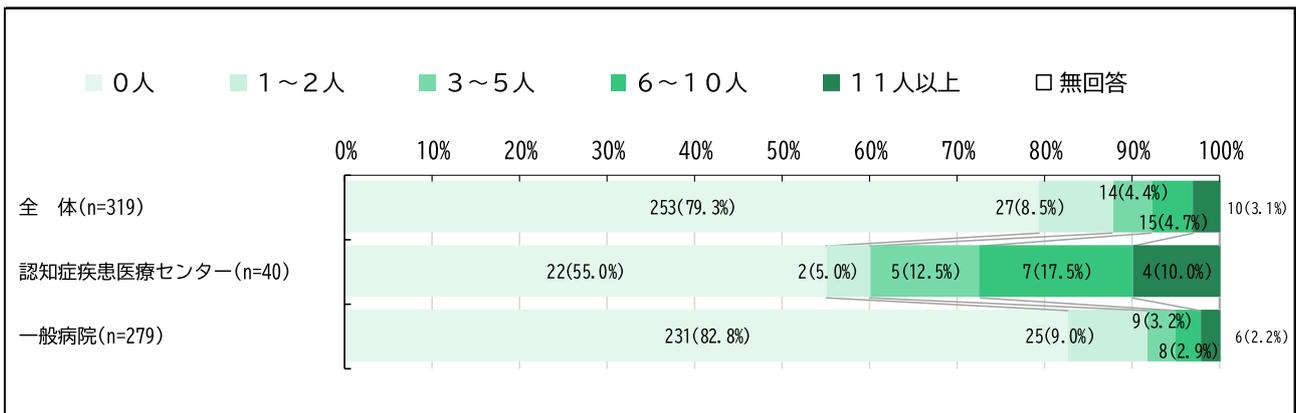
#### イ アのうち、認知症を有している患者数

全体では、「11～50人」(33.2%)が最も高くなっている。



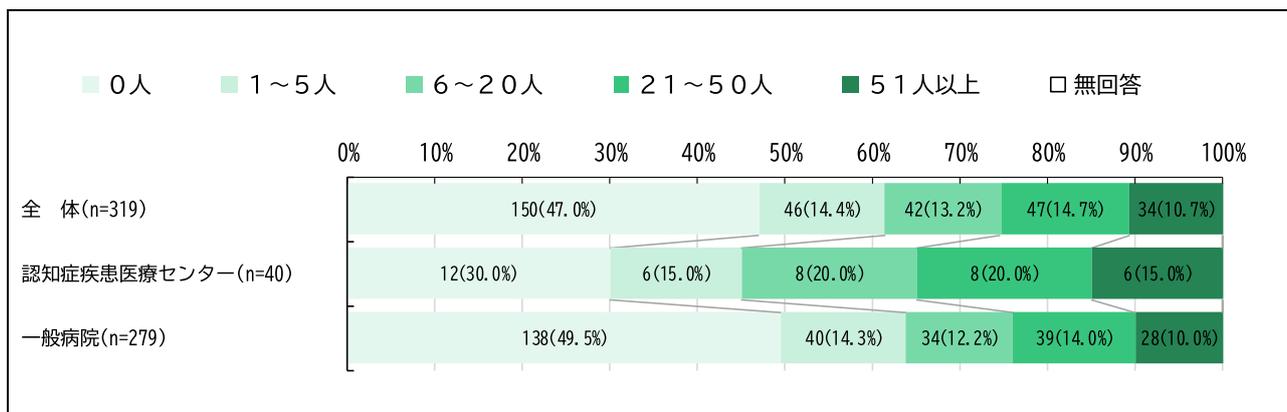
#### エ イのうち、行動・心理症状の安定を主な目的に受け入れた患者数

全体では、「0人」(79.3%)が最も高くなっている。



オ イのうち、身体合併症の治療を主な目的に受け入れた患者数

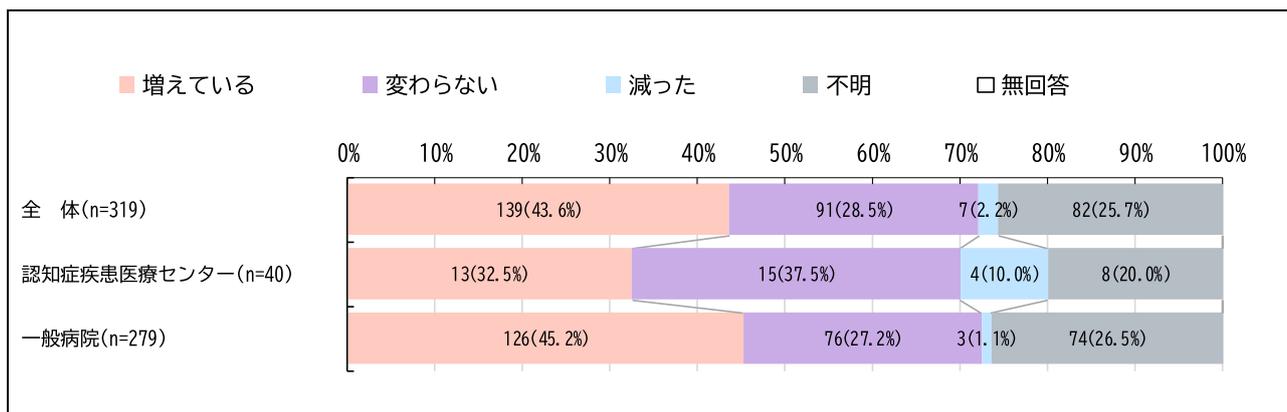
全体では、「0人」(47.0%)が最も高く、続いて、「21~50人」(14.7%)、「1~5人」(14.4%)、「6~20人」(13.2%)、「51人以上」(10.7%)の順に高くなっている。



(2) 行動・心理症状が強い認知症患者について

問3 以前(5~10年程度)と比べて、行動・心理症状が強い認知症患者の入院要請は増えていますか。(1つに○)

全体では、「増えている」(43.6%)が最も高く、続いて、「変わらない」(28.5%)、「不明」(25.7%)の順に高くなっている。

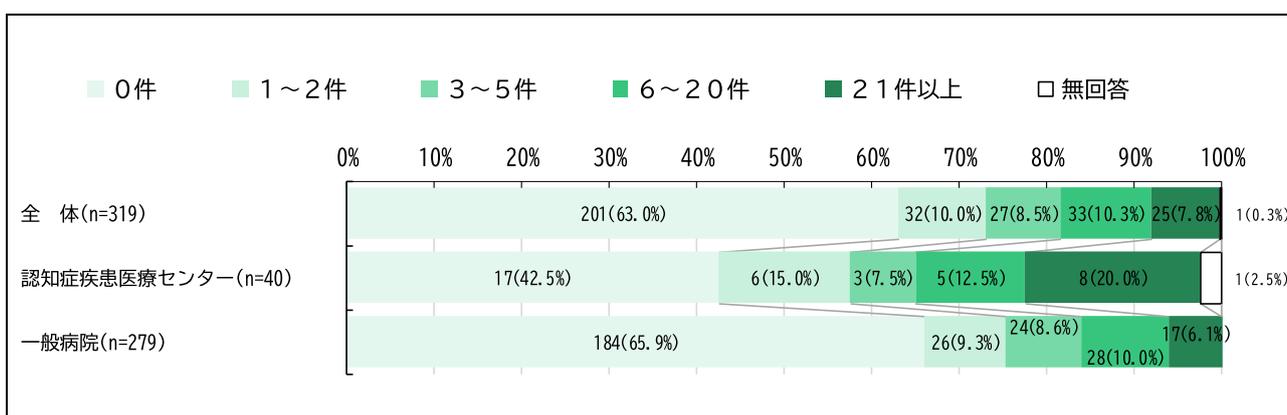


問4 行動・心理症状が強い認知症患者の入院要請件数と断った件数をご回答ください。

なお、0件の場合でも、0とご回答ください。(2025年6月実績をご回答ください。)

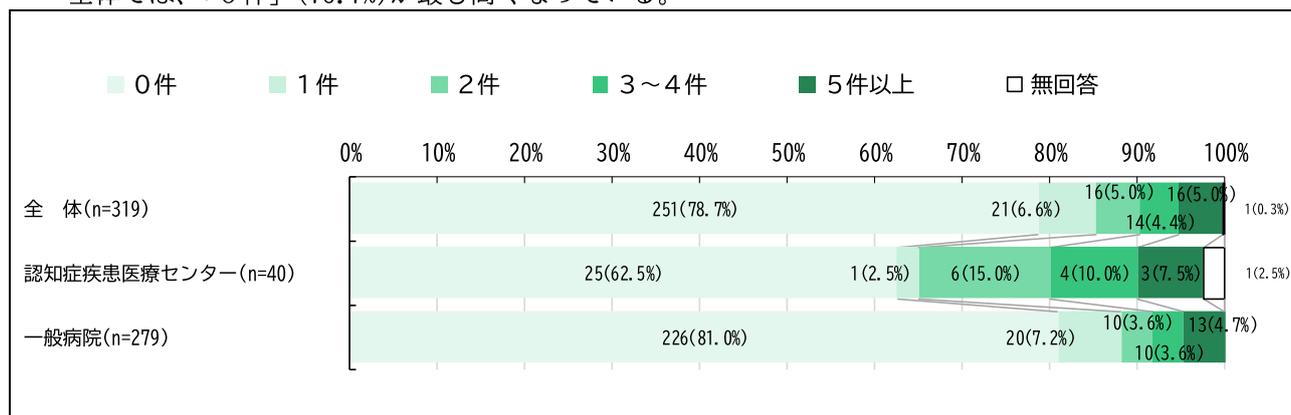
ア 入院要請件数

全体では、「0件」(63.0%)が最も高く、続いて、「6~20件」(10.3%)、「1~2件」(10.0%)の順に高くなっている。



## イ アのうち、断った件数

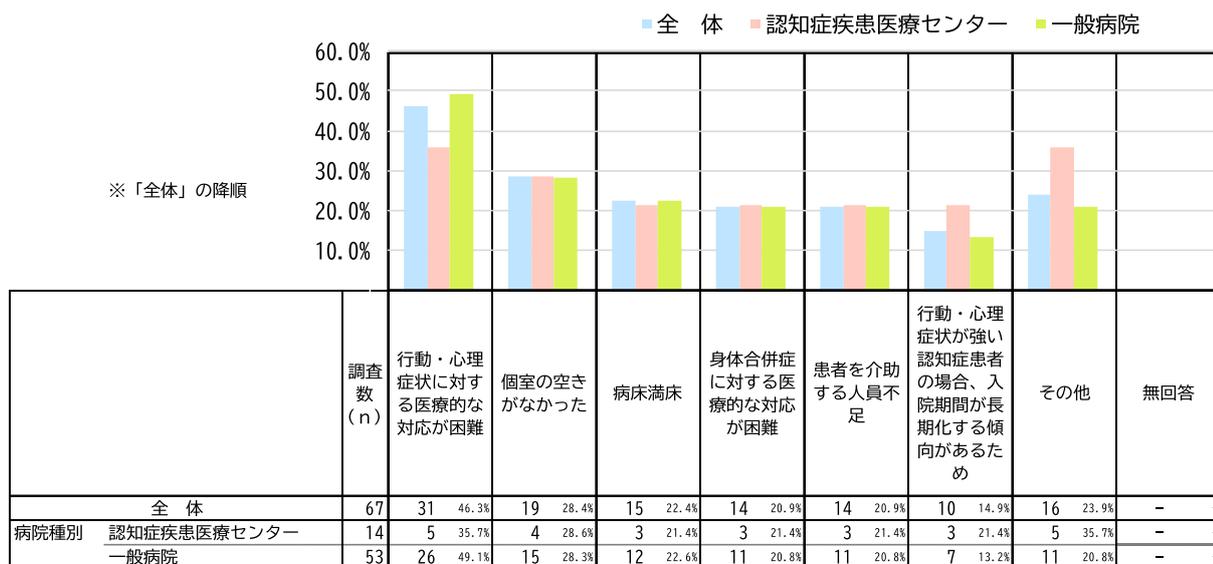
全体では、「0件」(78.7%)が最も高くなっている。



問4 「イ 入院要請のうち断った件数」で「1件」以上と回答した場合のみお答えください。

問4-1 断った主な理由をご回答ください。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「行動・心理症状に対する医療的な対応が困難」(46.3%)が最も高く、続いて、「個室の空きがなかった」(28.4%)、「病床満床」(22.4%)、「身体合併症に対する医療的な対応が困難」・「患者を介助する人員不足」(いずれも 20.9%)の順に高くなっている。

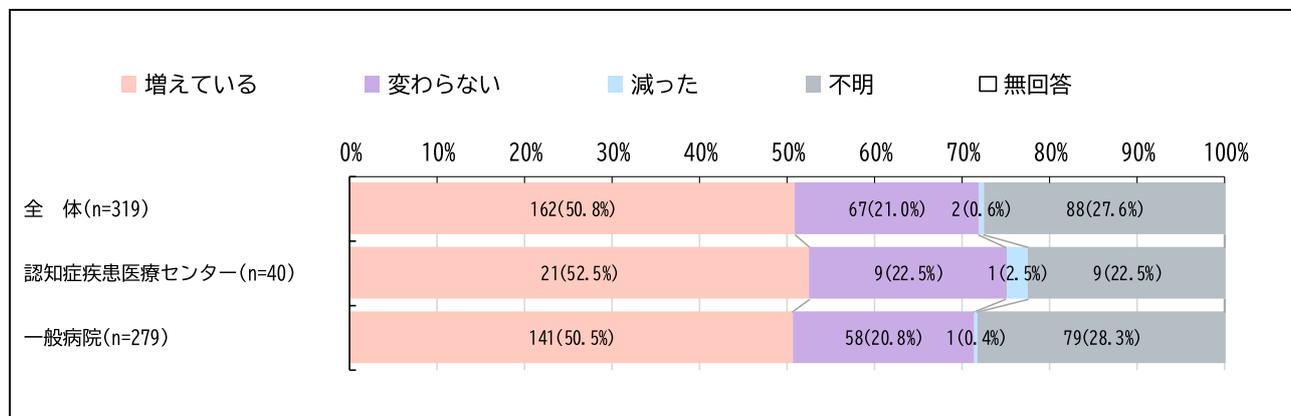


### (3) 身体合併症※を有する認知症患者について

※ 対応が必要な脳血管疾患・心疾患・呼吸器疾患・感染症・骨折など

問7 以前（5～10年程度）と比べて、身体合併症を有する認知症患者の入院要請は増えていますか。（1つに○）

全体では、「増えている」（50.8%）が最も高く、続いて、「不明」（27.6%）、「変わらない」（21.0%）の順に高くなっている。

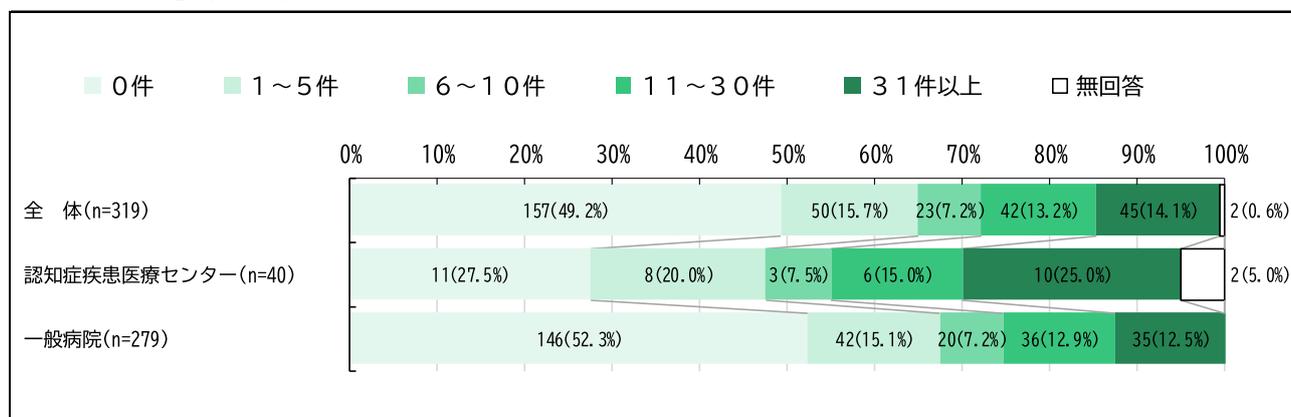


問8 身体合併症を有する認知症患者の入院要請件数と断った件数をご回答ください。

なお、0件の場合でも、0とご回答ください。（2025年6月実績をご回答ください。）

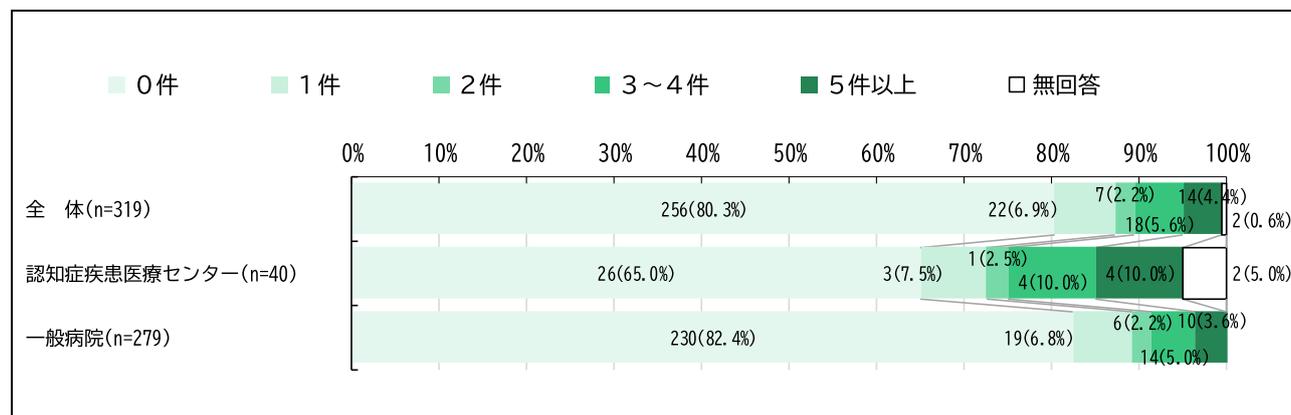
#### ア 入院要請件数

全体では、「0件」（49.2%）が最も高く、続いて、「1～5件」（15.7%）、「31件以上」（14.1%）、「11～30件」（13.2%）の順に高くなっている。



#### イ アのうち、断った件数

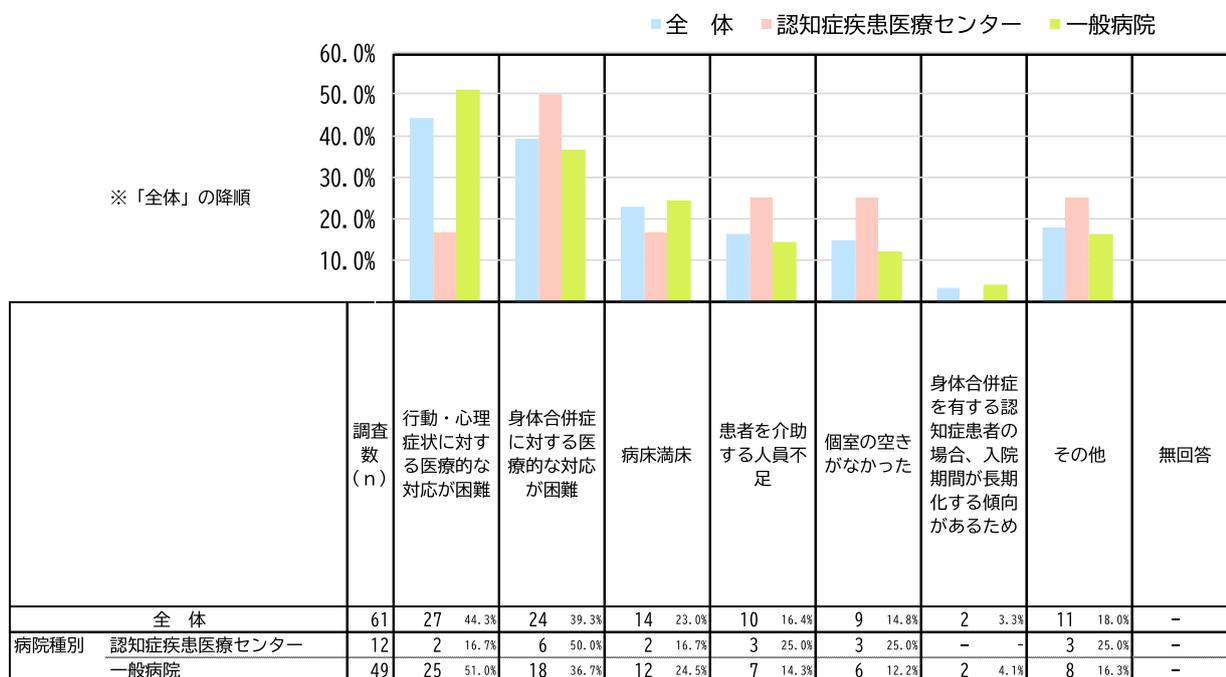
全体では、「0件」（80.3%）が最も高くなっている。



問8 「イ 入院要請のうち断った件数」で「1件」以上と回答した場合のみお答えください。

問8-1 断った主な理由をご記入ください。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「行動・心理症状に対する医療的な対応が困難」(44.3%)が最も高く、続いて、「身体合併症に対する医療的な対応が困難」(39.3%)、「病床満床」(23.0%)の順に高くなっている。



認知症疾患医療センターの病院のみが回答

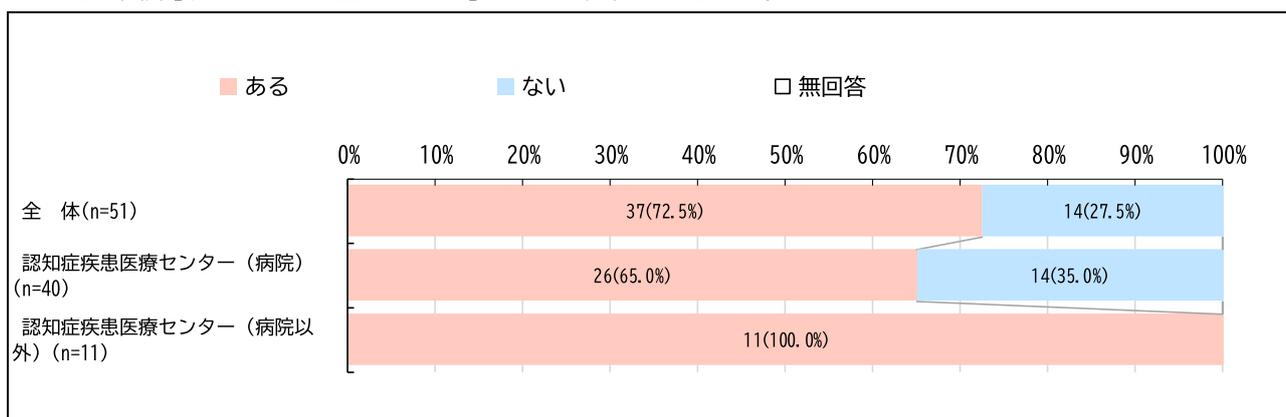
### 1-2 認知症を有している患者の入院先の調整に係る地域の状況について伺います。

#### (1) 貴センターが他院へ入院調整を行うとき

問12 認知症を有している患者の受入を依頼する際、受入調整に困ったことはありますか。

(1つに○)

全体では、「ある」(72.5%)が最も高くなっている。理由として、「身体合併症や行動・心理症状への対応が困難」、「ベッドに空きがない」などが挙げられている。



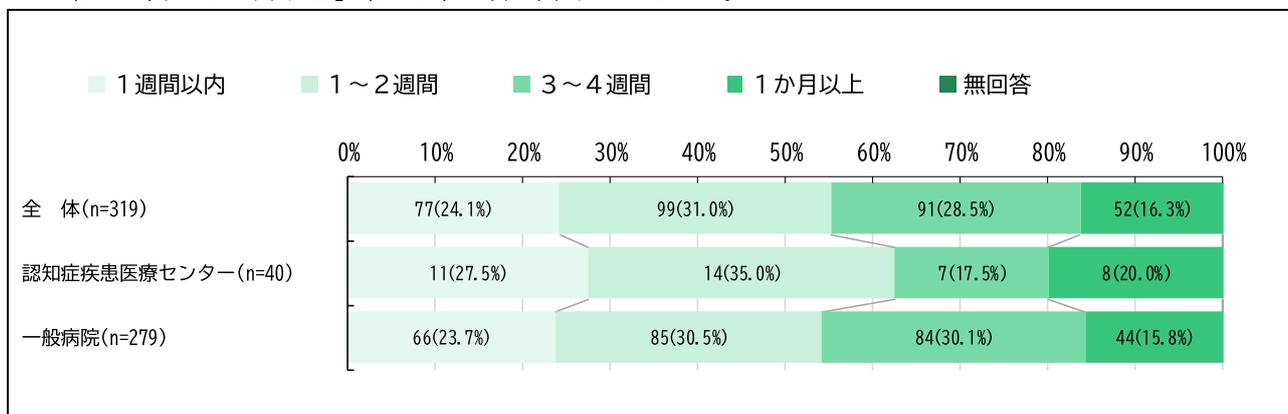
※認知症疾患医療センター(病院以外)調査でも同様の設問があり、本グラフでは合算して集計している。

すべての病院が回答

### 3-1 認知症を有している患者の転退院調整について伺います。

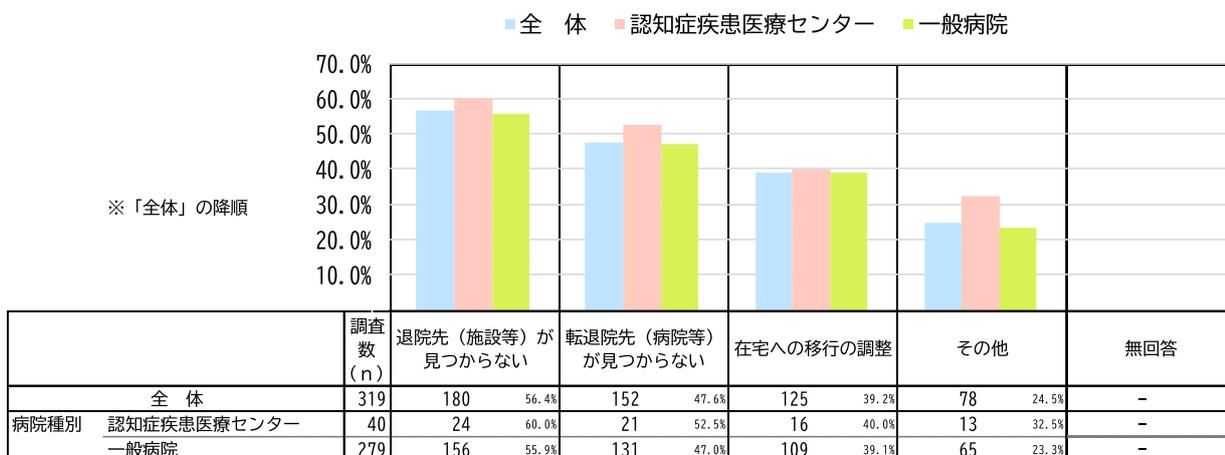
問19 認知症を有しない患者と比べて、認知症を有している患者の転退院調整に通常どれくらい多くの日数を要していますか。(1つに○)

全体では、「1～2週間」(31.0%)が最も高く、続いて、「3～4週間」(28.5%)、「1週間以内」(24.1%)、「1か月以上」(16.3%)の順に高くなっている。



問20 転退院調整により多くの日数を要する理由をご回答ください。

全体では、「退院先（施設等）が見つからない」(56.4%)が最も高く、続いて、「転退院先（病院等）が見つからない」(47.6%)、「在宅への移行の調整」(39.2%)の順に高くなっている。



## II 認知症疾患医療センター（病院以外）調査

### 2 認知症を有している患者の入院先の調整に係る地域の状況について伺います。

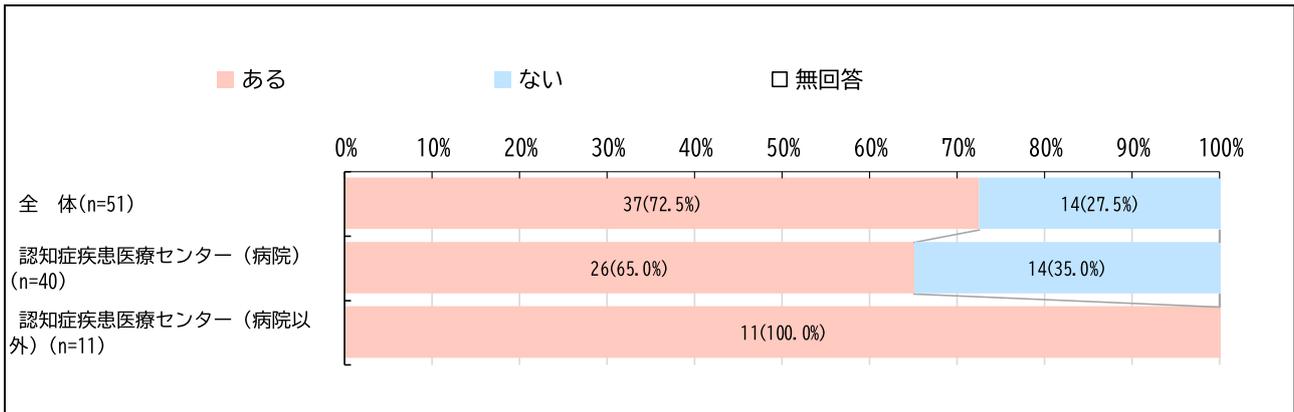
#### (1) 貴センターが他院へ入院調整を行うとき

問4 認知症を有している患者の受入を依頼する際、受入調整に困ったことはありますか。(1つに○)

全体では、「ある」(72.5%)が最も高くなっている。

認知症疾患医療センター（病院）では、「ある」(65.0%)、認知症疾患医療センター（病院以外）でも、「ある」(100.0%)が最も高くなっている。

理由として、「身体合併症や行動・心理症状への対応が困難」、「ベッドに空きがない」などが挙げられている。



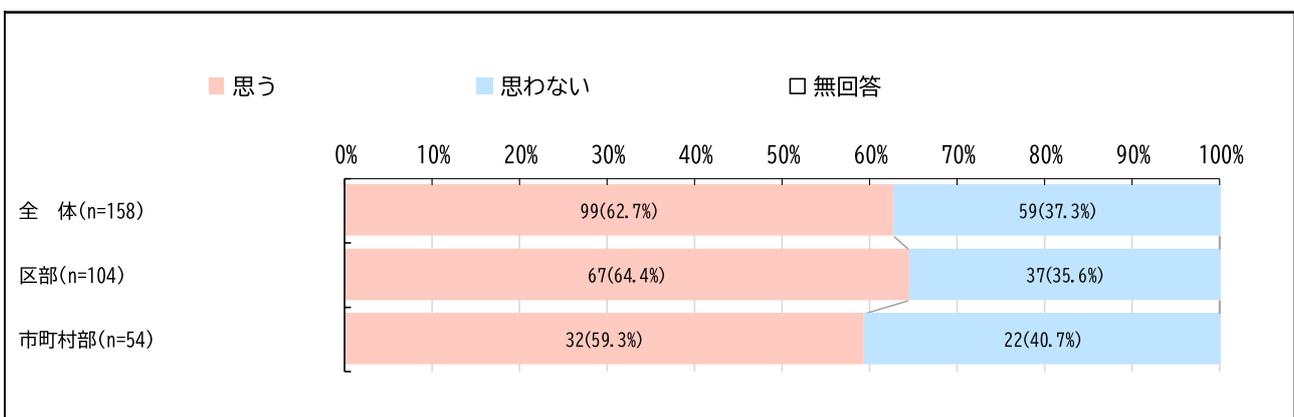
※病院調査でも同様の設問（認知症疾患医療センターである病院のみが回答）があり、本グラフでは合算して集計している。

## III 施設・居住系サービス・居宅介護支援事業所調査

### 1 認知症のある人の入院先の調整に係る地域の状況について伺います。

問1 円滑に入院が行われていると思いますか。(1つに○)

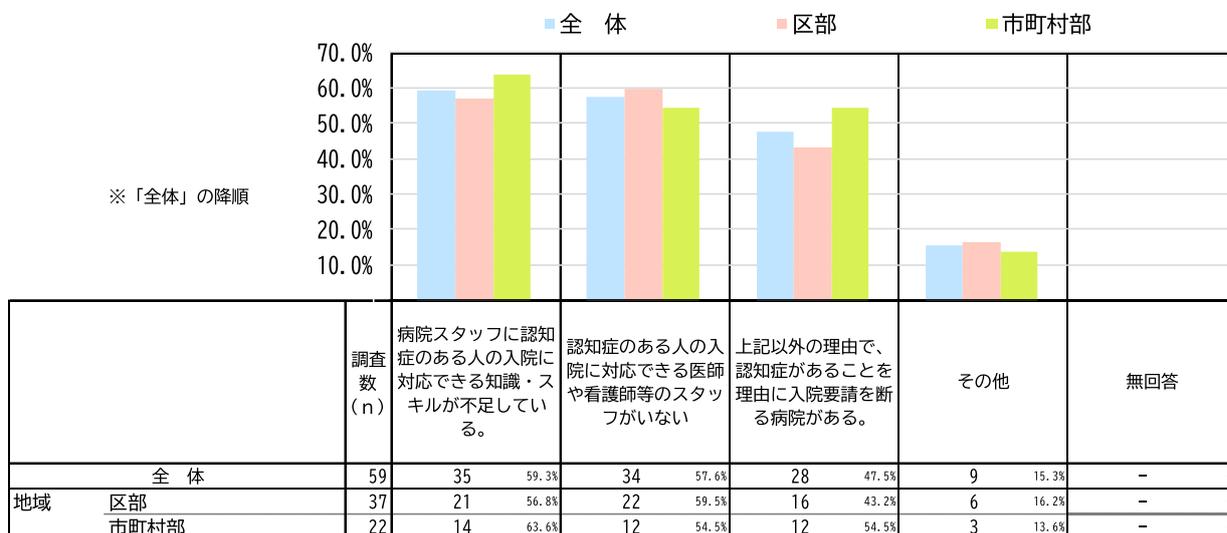
全体では、「思う」(62.7%)が最も高くなっている。



問1で「思わない」と回答した施設に伺います。

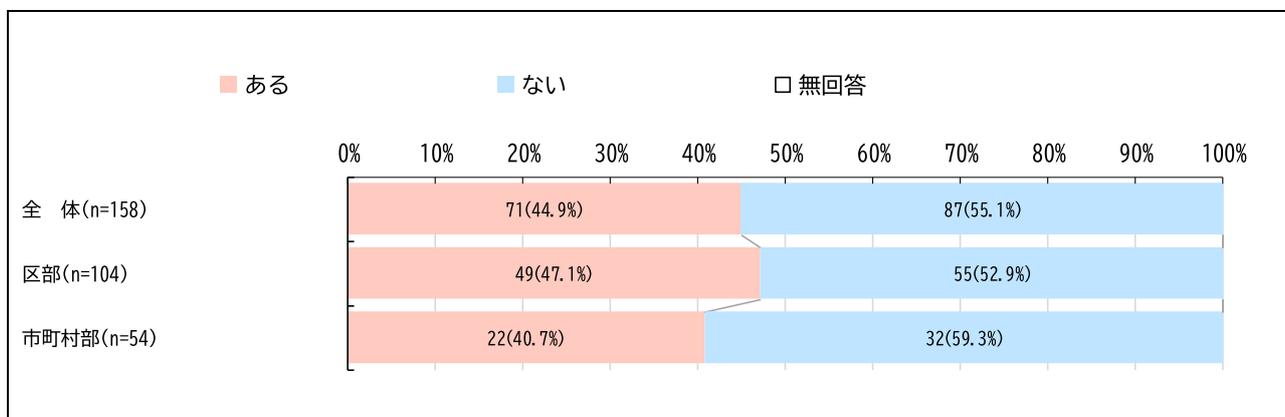
問1-1 円滑に入院が行われていない要因は何だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「病院スタッフに認知症のある人の入院に対応できる知識・スキルが不足している。」(59.3%)が最も高く、続いて、「認知症のある人の入院に対応できる医師や看護師等のスタッフがいない」(57.6%)、「上記以外の理由で、認知症があることを理由に入院要請を断る病院がある。」(47.5%)の順に高くなっている。



問2 実際に入院調整に困ったことはありますか。(1つに○)

全体では、「ない」(55.1%)が最も高くなっている。

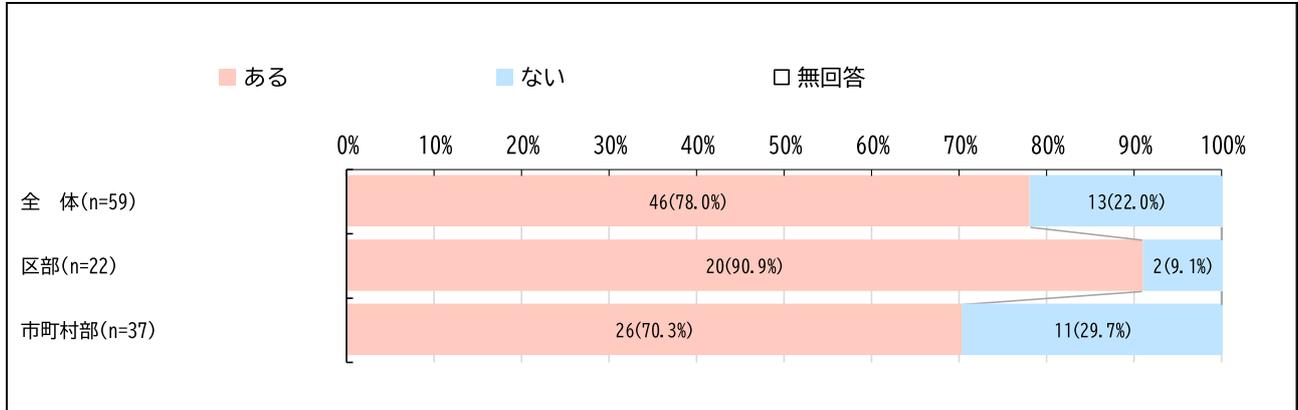


#### IV 区市町村調査

##### 1 地域の認知症患者の医療上の課題

問6 認知症に関する医療・介護の連携上の課題はありますか。

全体では、「ある」(78.0%)が最も高くなっている。具体的には、「医療機関と介護サービス事業者の即時的な情報共有が困難」、「独居や身寄りのないケースへの対応」などが挙げられている。

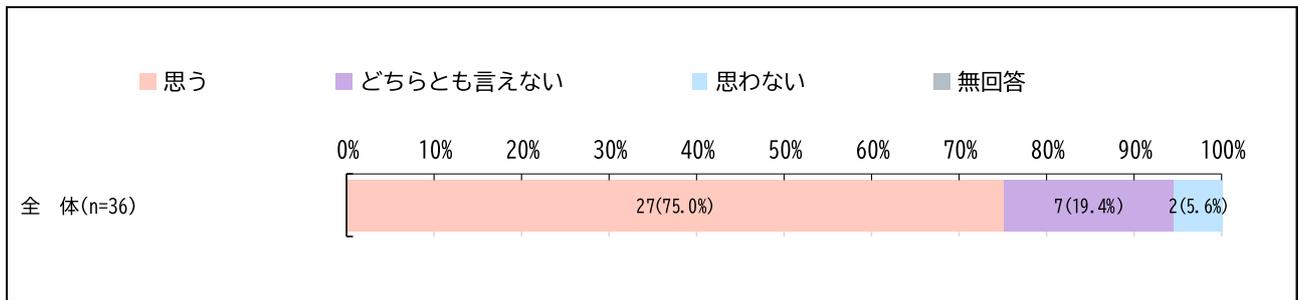


#### V 当事者・家族調査

##### 1 ご自身のかかりつけ医について

問1 ご自身のかかりつけ医は、認知症について理解があると思いますか。

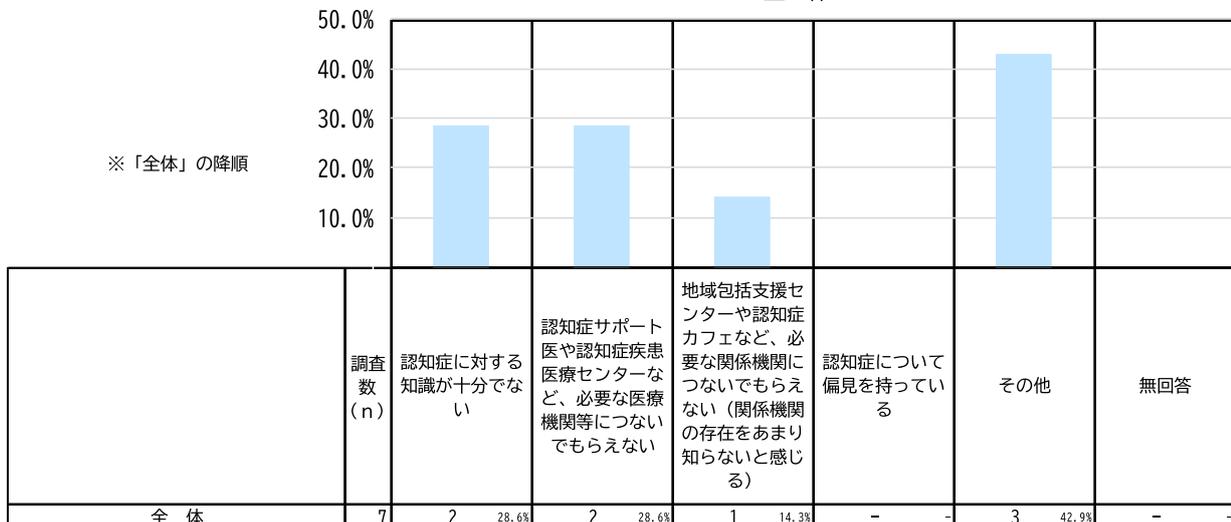
全体では、「思う」(75.0%)が最も高くなっている。



問1で「どちらとも言えない」または「思わない」と回答した方に伺います。

問1-1 なぜそう思いましたか。(あてはまるもの全てに○)

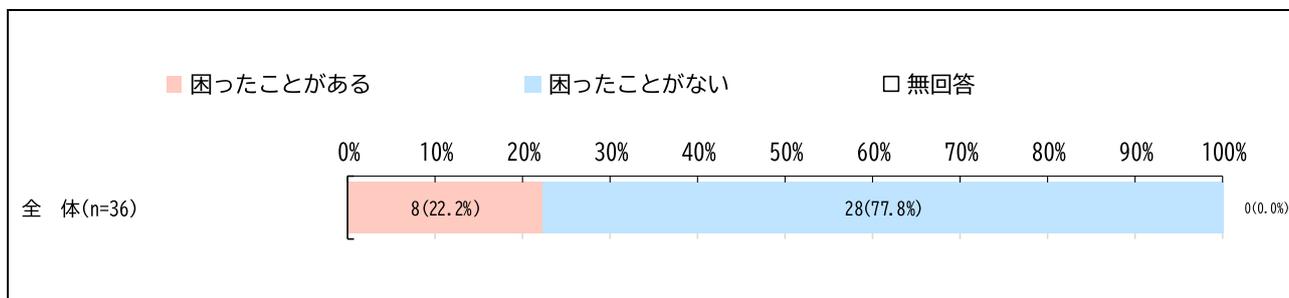
全体では、「認知症に対する知識が十分でない」・「認知症サポート医や認知症疾患医療センターなど、必要な医療機関等につないでもらえない」(いずれも 28.6%)が最も高くなっている。



## 2 入院先を選ぶとき

問2 病気やケガ等で入院して治療することが必要になったとき、入院先を選ぶに当たって困ったことがありますか。(1つに○)

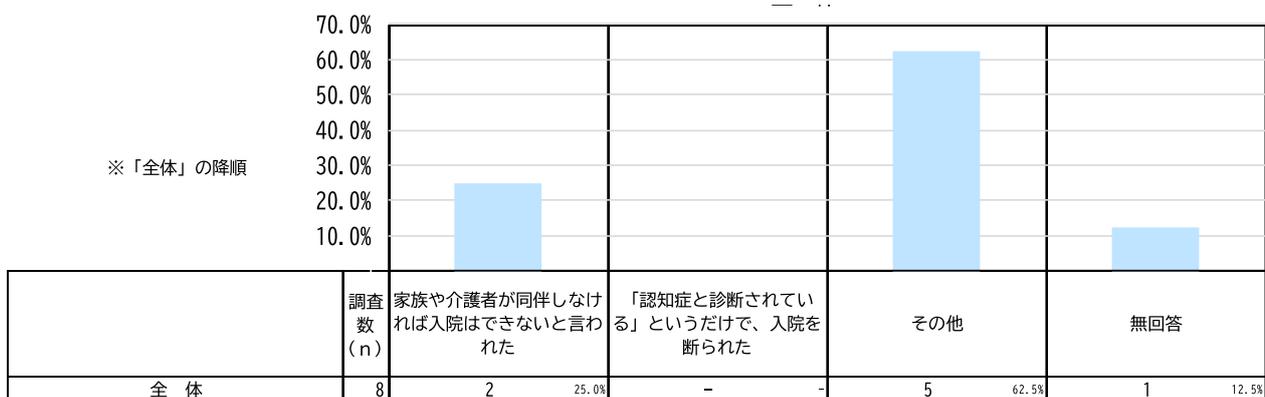
全体では、「困ったことがない」(77.8%)が最も高くなっている。



問2で「困ったことがある」と回答した場合のみご回答ください。

問2-1 どのようなことで困りましたか。(あてはまるもの全てに○)

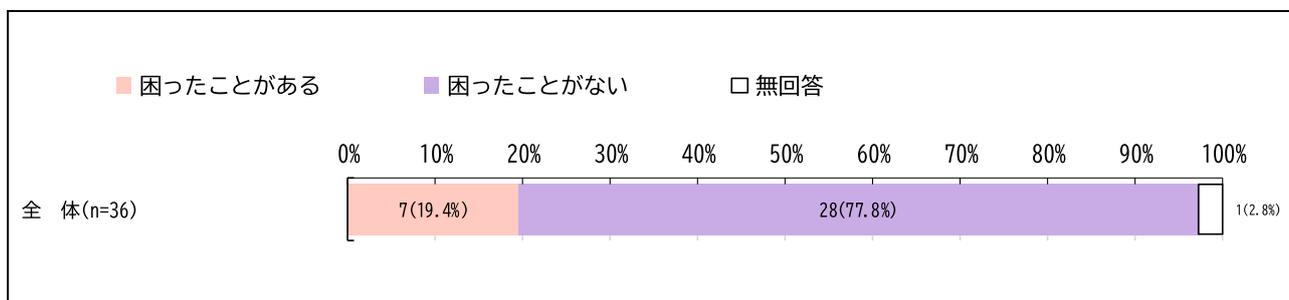
全体では、「家族や介護者が同伴しなければ入院はできないと言われた」(25.0%)が最も高くなっている。



## 3 入院中に治療やケアを受けているとき

問3 病気やケガ等で入院したとき、入院中の治療やケアで困ったことはありますか。(1つに○)

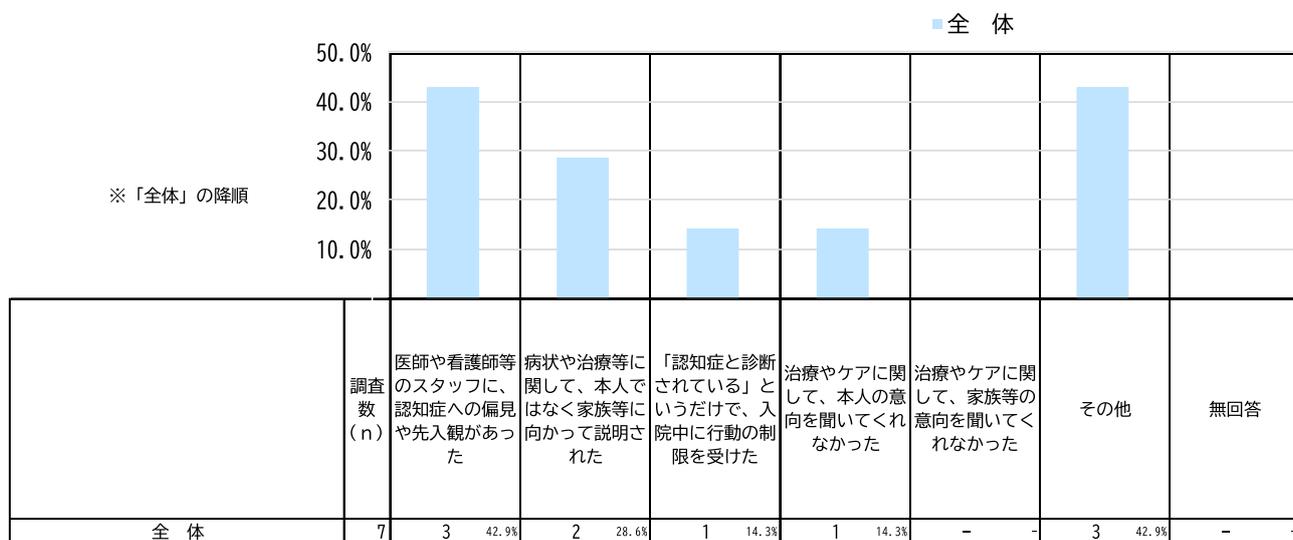
全体では、「困ったことがない」(77.8%)が最も高くなっている。



問3で「困ったことがある」と回答した場合のみご回答ください。

問3-1 どのようなことで困りましたか。(あてはまるもの全てに○)

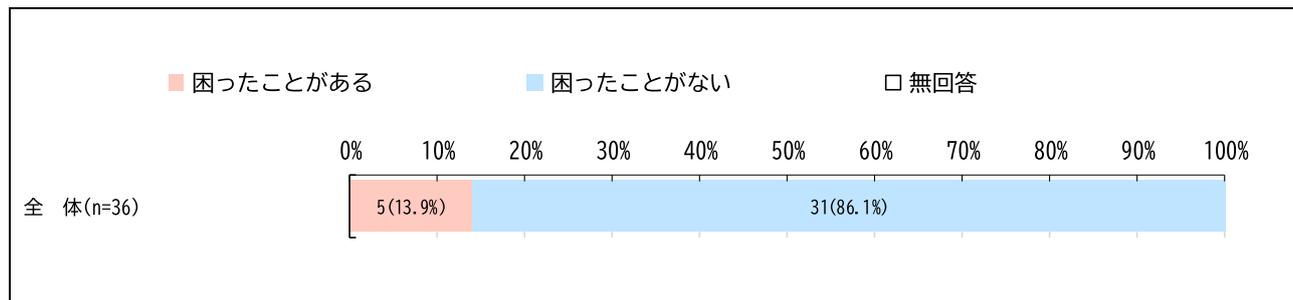
全体では、「医師や看護師等のスタッフに、認知症への偏見や先入観があった」(42.9%)が最も高くなっている。



4 退院するとき

問4 病気やケガ等の治療の終了等により退院するとき、困ったことはありますか。(1つに○)

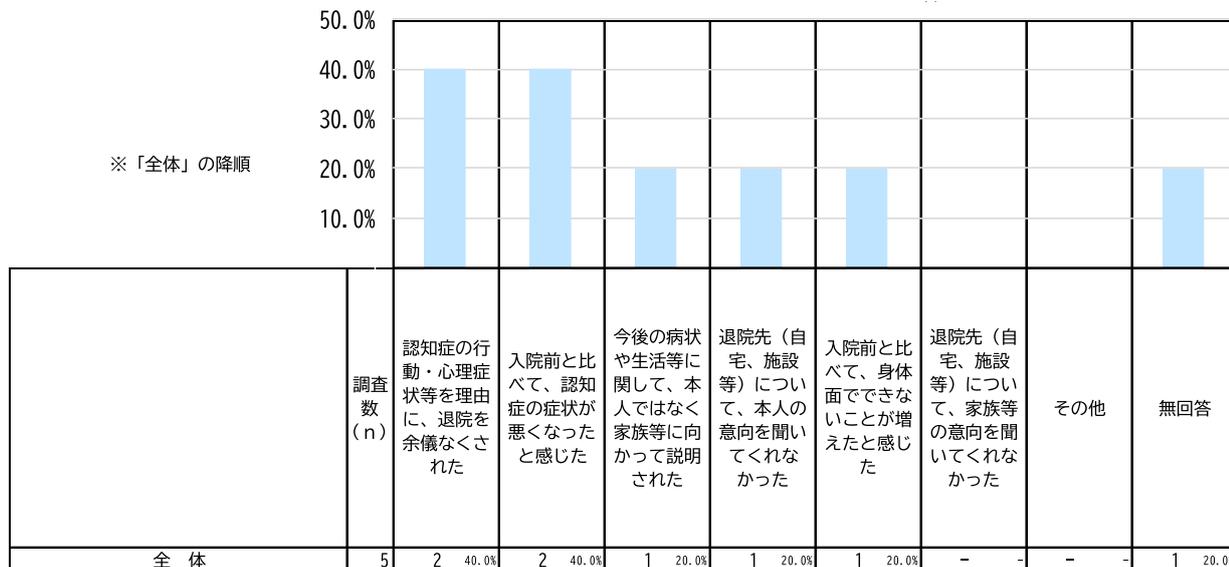
全体では、「困ったことがない」(86.1%)が最も高くなっている。



問4で「困ったことがある」と回答した場合のみご回答ください。

問4-1 どのようなことで困りましたか。(あてはまるもの全てに○)

全体では、「認知症の行動・心理症状等を理由に、退院を余儀なくされた」・ 入院前と比べて、認知症の症状が悪くなったと感じた」(いずれも 40.0%)が最も高くなっている。



【参考】何らかの医療上の困りごとがある当事者・家族（問1～4の回答結果より）

全体では「ない」(61.1%)が最も多くなっている。

一方で、何らかの医療上の困りごとが「ある」(38.9%)と回答した当事者・家族も、およそ4割となっている。

